

令和4年度(2022-2023) 1月度 商工会常任委員会 議事録

日 時： 令和5(2023年) 1月25日(水) 13:00

会 場： United Way of Greater Houston CRC

出席者： 41名(うち名誉会長、名誉会員、常任委員 30名、代理正会員 5名、オブザーバー3名、事務局長)

欠席者： 84名(うち会長委任 48名、代理委任 5名、無回答 31名)

司 会： 酒井一宏 幹事

1. 商工会会長連絡 (早坂 晃 会長)

①今年、米国経済がリセッションに陥るのかどうかについて、世界中が注目している。現在、FRB は高インフレを第一の懸念事項と考えており、多少景気を犠牲にしても、インフレを抑え込もうとしている。そんな中、1月12日発表の12月のCPIは前年同月比+6.5%、コアCPIは同+5.7%という結果で、少しずつインフレが落ち着いてきているようにも見える。基本シナリオではインフレ率の伸びは低下していく見込みだが、そうならない場合も含めて過度な利上げは米経済にとっての最大のダウンサイドリスクとなる。米経済だけでなく世界経済の行方も米国のインフレ率及び政策金利に左右されるため、引き続き今後の動向に要注視である。

②新型コロナウイルスについては、ここ米国ではバイデン大統領が昨年9月の記者会見でパンデミックは終了したとの見解を示し、生活はほぼ元通りというような印象を持っている人々も多い。日本では岸田首相からの検討指示を受け先日、季節性インフルエンザと同等の「5類」への移行に関して、厚生労働省の感染症部会で議論がなされ、27日の次回会合で見解がまとめられるそうである。「5類」に引き下げた場合には、入院勧告や就業制限といった厳しい措置が出来なくなること、コロナの日常化に向けた動きとなるので、今後の進展を見守りたい。一方で、パンデミックは終わったという多くの国での認識が新型コロナ抑制への取り組みを早急に緩めてしまう可能性がある、とのWHOの懸念もある中、新たな変異株の出現も継続しているようだ。今後、皆様の健康や生活、そして商工会の活動に影響が出ないことを祈りつつ、経済のみならず政治にも大きな影響を及ぼし得る新型コロナウイルスには引き続き要注視である。

③昨年暮れクリスマス頃には、米国の大部分とカナダの一部で吹雪、強風、降雪、あるいは記録的な寒さなどの Winter Storm Elliott が発生し、空の便にも多くの混乱があった。幸いヒューストンエリアにおいては、2021年2月の Winter Storm Uri での教訓も活かされてか、当時ほどのインフラの混乱はなかった。昨日(24日)の Thunderstorm もあり、自然災害にはハリケーンシーズンのみならず、通年での注意や準備が必要な状況になっているので、皆様もご留意頂きたい。

④今年には商工会活動として春先より、ピクニック、ソフトボール大会、ジャパンフェスティバル、テキサス杯ゴルフと順次行事が予定されている。それぞれご担当の幹事会社様により準備が進められていると思うが、皆さま是非とも商工会を盛り上げるべく、奮ってご参加いただきたい。

2. 総領事館連絡 (村林弘文 総領事)

①過去一年を振り返るとまさに「ポストコロナ元年」ということができ、春頃から対面の行事がほぼ普通に開かれるようになった。ほとんどは3年ぶりということもあり、従来以上に行事が活発に開催され、色々な都市を飛び回って参加しているうちにあっという間に1年が過ぎてしまった。また、今年には年明けからオクラホマ州知事やテキサス州知事の就任式、ダラスと仙台の姉妹都市25周年記念式典などの行事が目白押しにあり、同じ日の昼夜で遠隔地の行事を掛け持ちで出席することも度々ある。それだけ活発に行事が行われるようになったことは嬉しくありがたいことであるので、商工会の行事も含め、今年も可能な限り対応させていただきたい。

②アボット州知事の就任演説で一番注目されたのは、テキサス州史上最大規模の Property Tax の大幅減税を行うということ

あり、これについてはパトリック副知事の就任演説でも公約されていた。一方、Property に関しては、2022 年 11 月、テキサス州議会上院において、中国・北朝鮮・ロシア・イランの国民、政府及び団体・企業によるテキサス州内の土地購入を全面的に禁止するという法案が提出されており、アボット知事はこれに支持を表明している。これに対し、中国系や台湾系を含むマイノリティ系の政治家は、この法案は善良な市民が土地を購入することも禁止する人種差別的な内容であるとして反対し、今週月曜日にはヒューストン市庁舎の前でターナー市長も含め反対派の政治家が集まってデモを行った。

③米国統計局の報告によると、2022 年第 3 四半期の州別 GDP 成長率において、第1位はアラスカ州(8.7%)、第 2 位はテキサス州(8.2%)、第 3 位はオクラホマ州(5.5%)であった。当館が管轄しているテキサス州とオクラホマ州の両州は非常に好調であり、これはエネルギー産業、特に石油・天然ガスの増産が主な要因となっていることが数字で出たので、参考まで情報を共有させていただく。

3. 幹事報告(酒井一宏 幹事)

*物資・化学品部会長の交代について

故藤澤豊部会長(Nissan Chemical America Corporation)の後任者として、同社の川又理央氏が定款第五条第三項に基づき物資・化学品部会長として 12 月度理事委員会にて任命された。

*日本テキサス医療振興会(JMTX)の支援について

ヒューストンに在住する日本人を医療面で支援するという JMTX の理念に賛同し、先月の理事委員会にて同団体への寄付を承認し、ファウンデーションより\$2,000 を拠出した。その後、同団体からは、スポンサー企業の申し出が数社あり、立ち上げと今年度の運営に必要な費用が十分賄える見通しがついたことにつき、お礼と報告があった。また、同団体が実施したアンケートについては 121 名から回答があり、その結果として医療保険やかかりつけ医など基本的なことやローカルな医療機関の情報をもとめられていることが分かった。今後、JMTX は、ホームページ開設とウェビナー開始を短期的な目標とし、ガルフストリーム 3 月号で紹介できるよう準備を進めている。さらに、同団体は今後外部との連携を始め、メンバーを増やし、テキサスメディカルセンターに見学に来たい若手医師の助成制度を始める予定であるという報告があった。

4. 他団体対応・日本庭園関連報告 (名川 謙 特命理事)

*日米協会主催関連イベントについて

①Japan Current (在米日本大使館、全米日米協会)

2 月 24 日(金)11:30 AM - 1:30 PM にダウンタウンの Petroleum Club にて、村木茂氏(クリーン燃料アンモニア協会代表理事、東京ガス株式会社アドバイザー)を講師にお迎えしてビジネスセミナーを開催するので、ご参加いただきたい。

②日本語スピーチコンテスト

ヒューストン地域大会は 2 月 4 日(土)9:00 AM-5:00 PM に University of St. Thomas - Anderson Hall にて、またテキサス州大会は 3 月 11 日(土)9:30 AM-1:30 PM に Rice University | Anderson-Clarke Center にて開催される。商工会には審査員協力につき別途ご連絡する予定である。

③Japan Festival

5 月 6 日(土)と 7 日(日)、ハーマンパークにて 4 年ぶりに第 30 回を記念し開催を予定している。日本庭園開園 30 周年記念、千葉市との姉妹都市提携 50 周年、日本人会設立 20 周年の節目の年でもあり、盛大に盛り上げていきたいので、スポンサー企業やボランティアの募集にぜひご協力いただきたい。

④経済広報センターのセミナー

3 月 20 日に開催を予定しており、後日詳細につきご案内する予定である。

*日本庭園関連報告

①庭師招聘(Hermann Park Conservancy 主催)

2 月 17 日から 3 月 7 日まで、日本から 4 年ぶりに庭師 2 名を招聘し保守作業を実施する。滞在中のご協力について、別途ご

連絡する予定である。

②春の清掃ボランティア募集

5月開催のジャパンフェスティバル控え、4月までに日本庭園清掃を実施する。ボランティア募集について、別途ご連絡するので是非ご協力いただきたい。

5. 委員会・部会関連事項

①企画・調査委員会（桜内政大 企画・調査委員長）

*本日の定例講演会開催案内

本日、常任委員会後に「2024年大統領選に向けた米国政治経済展望」と題し、定例講演会を開催する。今回の講師には角道高明氏（米国三井物産 SVP 兼ワシントン DC 事務所長、三井物産 理事）をお迎えし、次期大統領選に向けて駆け引きが活発化する米国の政治、マクロ経済、外交の見通しについて解説していただく。ぜひご参加いただきたい。

②文化委員会（鈴木 一 文化委員長）

*2023年ピクニック開催案内（商工会・日本人会共催）

2023年4月2日（日）、ヒューストン北西の [Oil Ranch](#) にて4年ぶりに開催する。開催の方式については、従来のような飲食持ち込みは不可とし、会場で提供するBBQランチやアトラクションをお楽しみいただくことになる。テキサスならではの広大な牧場（56 エーカー）には、ミニトレインやヘイライド、ペッティングズーなど様々なアトラクションがあり、幹事団にて運営するサックレースやヨーヨー釣りなど、様々な年齢層にお楽しみいただけるプログラムを鋭意準備中である。会場にはスタッフが配置されるため、商工会のボランティア人数は少なく開催できる。

3歳以上の参加者一人につき\$38.95のコストが掛かるため、協賛企業を募り、ラッフル券の販売による収入を前提に個人負担額の減額を図ることにより、参加費は大人\$25、子供\$15（3歳以上高校生まで）と設定する。恒例のラッフル抽選会も行い、日本への往復チケット、ティファニー製品、アップル製品など豪華賞品盛り沢山となっている。開催案内は近日中に事務局より配信予定なので、特典つきの Early Bird Special（締め切り：2/28/23）をご活用の上、ぜひお申込みいただきたい。また、各会員企業の皆様にはラッフル賞品寄付、協賛広告へのご協力を、別途お願い申し上げる予定。

③スポーツ委員会

*2023年ソフトボール大会開催案内（木村悟士 正会員；栗本一哉 副会長兼スポーツ委員長代理）

当初4月16日（日）に開催を予定していた2023年度のソフトボール大会は、新会場である Shadow Creek Ranch の都合により、4月23日（日/Easter Sunday ではない）に変更して開催することとなった。前年度の参加者からソフトボール専用の球場を希望する声があり、その要望に従い新会場に変更し開催することとなった。チーム参加費は、1チームにつき\$180、試合形式については前年度と同じく4面を使用したトーナメント形式（リーグ形式ではない）となる。開催案内については、後日、事務局より配信予定となっているので、ぜひご参加いただきたい。

④生活・情報委員会

*第一回古本市開催案内（根本真樹子 生活・情報委員長）

3月4日（土）9:00～17:00、三水会センター会議室にて今年度第1回目の古本市を完全予約制で開催するので、ぜひご参加いただきたい。今回もひと枠につき20名の予約を受け付け、滞在時間は30分とする。収益は、生活・情報委員会傘下のボランティアグループの活動費、図書館の書籍およびキッズルームの備品購入等に充てる予定である。ボランティアならびに古本（特に児童書）の寄付につき、ぜひご協力をお願い申し上げる。

*その他の活動報告

生活・情報委員会傘下の活動である「あそぼーかい」、「お助けマップ」については、いずれもコロナ禍に以前の活動レベルに戻り活発化してきている。さらに、今年度10月から新たに開始した「三水会クラブ」も4回目を迎え好評で、読み聞かせの会も12月から久しぶりに再開することができた。どの活動についても現在ボランティアスタッフが不足しているため、ご関心のある方々にぜひお声がけいただきたい。

6. 事務局関連事項（小林浩子 事務局長）

***会員消息** (HP「会員専用ページ」参照)

本日現在の会員数は、名誉会員数 10名、正個人会員数 778名、(正団体会員数 114社)、準会員数 45名 で、総会員数は 833名となった。

以上。